

事業所名: グループホーム 晴海の丘

作成日: 2024 年 9 月 30 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 ①	日々の生活の中で把握できた生活歴を、アセスメント用紙に追記していく予定である。	把握した利用者様の生活歴をアセスメント用紙に追記していく。	入居前の情報や家族様からの情報に加え、共に過ごす利用者様との日常生活の中からも生活歴を把握するように努める。また、アセスメント用紙に追記していくことで、更なる情報共有を図る。	24 ヶ月
2	26 ②	理学療法士も勤務しており、今後もアセスメント用紙に「ADL」と「IADL」等の活動を細分化し、有する能力(できうな事等)の記録を増やしていく予定である。	利用者様個々人の「ADL」「IADL」等の活動を細分化し、有する能力等の記録を増やす。	理学療法士等の協力を仰ぎ、利用者様の“できそうなこと”を発見・把握し、「ADL」「IADL」等の活動を細分化した記録に残していくよう努める。	24 ヶ月
3	26 ③	アセスメント内容と介護計画の整合性を整えていくと共に、今後もチーム(ご利用者・家族・関係者等)で検討・作成し、実践に繋げていく予定である。	アセスメント内容と介護計画の内容の整合性を整えていく。	把握しているアセスメント内容を網羅できるアセスメント用紙の改善を行い、介護計画に反映させていく。また、検討・作成をチームで行い、実践に繋げるよう努める。	24 ヶ月
4	49	今後は短時間でも敷地内を散歩したり、芝生のある庭で花を眺めながらお茶会をするなど、ご利用者とスタッフのストレスの発散や五感刺激を得られるように努めていく予定である。	利用者様の希望の把握及び五感刺激を得られるように努め、戸外に出る(外気を感じる)機会を増やしていく。	短時間の散歩や庭での会話・写真撮影などを実施し、利用者様が五感刺激を得られるよう努める。	24 ヶ月
5					ヶ月